



平成28年 5月 1日現在

総世帯数	1,478世帯
総人口	2,737人
男	1,283人
女	1,454人

「ノアヤ」

中条東第一町会 佐々木 照子 しよこ

ボクの名は「ノア」である。生後10ヶ月になる白黒のイケメンねこである。この家のおかあちゃんが「ノアはイケメンだねえ。」っていつも言ってくれるから自分でもそう思ってきている。この家でボクは生まれたのではなく6月の梅雨空の下、兄弟5匹でふるえていたところねこポランティアのおばさんに保護されたんだ。あの時助けてもらわなければどうなっていたんだろう。見つけてもらって本当に良かった。おかあちゃんたちにも出会えたし。



この家には齢50をとうに過ぎたおかあちゃんと高齢のおばあちゃんが暮らしている。数年前大きな手術をしたおばあちゃんは人と会う事が嫌になり家に籠もってしまうようになった。おかあちゃんは働いているから忙しくしているし、いつも話し相手をしてくれたおかあちゃんの息子さんも東京の学校へ行ってしまったからおばあちゃんは毎日寂しくてたまらなかったんだね。

この第一地区は高齢の人が多く「ふれ健」とか「やすらぎの会」とか楽しいから一緒に行くこうって近所のおばちゃん誘ってくれるのにおばあちゃんには行かない。そんな毎日で幸せなのかとおかあちゃん心配してた。そこで迷い悩んだあげくおばあちゃんが嫌かっておねこを飼おう!!って決心したんだって。

て呼んでくれた。嬉しかった。ノアと過ごす母。母の笑顔を見るのは久しぶりだ。生き物の持つ癒しのパワーに人はかなわない。ノアも母も幸せそうだった。

「ノアや、ありがとう。」

松本山雅の応援

南源地 青柳 明子

スポーツ好きで色々なスポーツに興味があり、新聞雑誌、テレビなどで楽しんでいます。又生涯スポーツとして、九人制バレーボールの週一練習に参加し楽しんでます。そんな私ですから、松本山雅(サッカー)を知り、アルウィンでの応援は勿論アルウェイでの応援にも行く事になってしまいました。山雅の応援をする事が生活の一部となり、一年間のスケジュールもまずは山雅ありきです。サポーターも、赤ちゃんからお年寄り迄、巾広い年代の人々が集まり、地域密着で、とても楽しめます。選手一人一人のチャント(応援歌)、チームのチャントを試合中、手をたたき大声で歌い、タオルマフラーを掲げ回し、時には飛

び跳ね、とても楽しい一時です。この応援で足腰が強くなり、身体が軽くなったとよく聞きます。県外からのサポーターも、一体感ある山雅サポーターの応援に魅力を感じ大勢かけつけているのも確かです。勿論好きな選手の応援は当りまえです。勝っても負けても「思いは一つ」J1に戻ること信じて、知らなかったサポーターとも顔なじみになり、松本山雅を盛り上



げ応援し続けます。そして松本山雅というチームから「生きる力」を頂いているのです。

◆ 応援歌 ◆

「山雅が好きだから」

どんな時でも

オレたちはここにいます

愛を込めて叫ぶ

山雅が好きだから

「信州松本Football」

今日も一つになって

追い求める

俺らと信州松本の

Footballを

行け山雅

「勝利時」

※タオルマフラーを掲げてから回す。

松本俺の誇り

勝利の道ゆく街

さあ行こうぜ緑の友よ

遥かなる頂へと オオー!

初夏の風物詩

すずらん 鈴蘭



花言葉「幸福が訪れる」

新任公民館長あいさつ

「お出かけください公民館へ」

公民館長 上兼 誠市



4月1日から公民館長を務めさせていただきます。早くケ月が経ちました。

この間、生まれ育った地域で見知った皆さんの中、安心感と心地よさを感じながらも、実に多種多様な地域の事柄が公民館を拠点に行われていることに、改めて驚きを感じております。第二地区はまさに少子高齢化

新任センター長あいさつ

地域づくりセンター長 藤井 勇



今年度より、船坂前センター長から引継ぎ、二代目のセンター長となりました。

地域では今、地域包括ケアシステム(支え合いの仕組み)の構築や防災等、取り組まなければならぬ課題が数多くあります。

誰もが安心していきいきと地域で暮らせるよう、皆さんと一緒にご協力、歩んでいきたいと思っております。

第一地区がより安全で安心して暮らせる地域となるよう微力ながら頑張ります。

の中にありますが、既に公民館・福祉ひろばでは、地域の実態を踏まえ高齢者に焦点をあてた事業などが実施されてきております。

公民館はだれもが集まれ、そこに集う人と人が出会うことで、生活・暮らし・地域を基盤につなぐ場であり、そして自分なりの楽しみも発見できる場でもあります。

お出かけください公民館へ皆さんが気軽に出入りいただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

退任館長あいさつ

関口 隆男

この度3年間の第二地区公民館長を退任いたしました。

初めての勤めで健康面等心配は有りましたが館の職員や地区の役員の皆様のおかげで、前任の祖父江館長から引き継いだ活動を継承する事が出来ました。

最後の文化祭中の怪我で皆様にご迷惑をおかけした事が悔やまれてなりません。

地域づくりセンターが設置され、公民館やひろばとセンターが共存しながら地域づくりをこの様に展開していくかの課題が残りましたが、次期館長に委ね第一地区の更なる発展をお祈りしています。

平成二十八年度 町会役員

Table listing town association members (町会役員) including Mayor (町会長), Council Members (町会議員), and various ward representatives.



館長・センター長送別会

Table listing various committees and staff members, including the Citizen Center Director (館長), Staff (職員), and various committees like the Citizen Center Council (公民館五部門委員).

すすき川

第二地区公民館・福祉ひろばが平成10年に開館して以来19年目を迎えた。ついこの間10周年記念事業を行ったばかりなのに、もう来年は20周年の記念の年になってしまった。

いよいよ今年からその準備に入ることに、各種の行事や諸活動の写真や資料等を整備していく必要がある。ちなみに10周年以降を振り返ってみると、特に目ざましかったのが「第二地区讃歌」を皆で作成したことである。平成21年には「第二地区総合防災訓練」を行ったこと。また、22年には「歌で健康力アップ講座」が始まったこと。23年には「第10回記念盆踊り大会」実施。24年には「公民館専用駐車場」を完備したこと等、特記すべき事がたくさん挙げられてくる。特に本年から来年度にかけては記念として残せるような行事やいろいろな活動が期待されるわけである。新しい公民館長のもと、各委員会や各町会の皆さんの協力を得ながら、第二地区の発展のため各人努力してまいります。

(横山)